

九州森林管理局
屋久島森林管理署
屋久島森林生態系保全センター

平成29年度 国有林におけるヤクシカ対策について（概要）

九州森林管理局、屋久島森林管理署及び屋久島森林生態系保全センターにおけるヤクシカ対策の取組は、健全な森林づくり、森林の生物多様性の保全、地域への貢献を基本目標として、ヤクシカに関する各種生態調査、効率的・効果的な捕獲手法の検討、地域や関係機関との連携など、これまでの実績や成果を生かし、引き続き下記の事業等に積極的に取り組むこととしています。

記

1 平成28年度の取組

(1) 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業

- ① ヤクシカの生息・移動調査、植生のモニタリング調査、ヤクシカ嗜好植物増殖試験、森林生態系管理目標の整理を実施。
- ② 官民境周辺における行動を見るため北部地域(南部林道沿)における移動状況、行動パターン等調査実施し、過去のデータを含めて整理し分析。
- ③ 生息密度調査については、主要林道の調査結果を整理し、密度コントロールの効果についてとりまとめた。
- ④ ヤクシカ嗜好植物増殖試験については、試験地を設定し嗜好植物の生育状況等について調査を実施。
- ⑤ 森林生態系管理目標については、モニタリング手法、データベース作成の検討、植生被害の地域別について整理。

(2) ヤクシカの有害鳥獣捕獲等による取組

- ① 平成28年度の捕獲実績は
449頭。(前年同期比76%)
- ② 請負事業による人工餌を使用した誘引捕獲を大川林道沿いで実施し、95頭を捕獲。

(3) 国有林内のヤクシカ対策への関係者間との連携

- ① 屋久島森林管理署、屋久島町、上屋久猟友会、屋久町猟友会により締結された「屋久島国有林におけるシカ対策推進協定」に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲を実施。

- (3) 官民境の国有林におけるわな捕獲を推進するため、屋久島森林管理署、屋久島町、上屋久猟友会、屋久町猟友会で協議し、官民境の国有林について有害捕獲を実施。

4 平成29年度の取り組み

- (1) 引き続き地域や関係機関との連携強化を図り、ヤクシカの有害鳥獣捕獲を実施し、生息環境等整備調査事業では、ヤクシカの生息・移動調査、植生のモニタリング調査、ヤクシカ嗜好植物増殖試験、森林生態系管理目標の整理を予定。
- (2) 関係機関でおこなう、国有林内での調査捕獲等に対しては、安全対策、実施箇所、実施方法プロセスを明確にしたうえで積極的に協力する。